

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16062-2
課題名	内斜視における片眼遮蔽法とプリズムアダプテーションテストの効果
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2021 年 7 月 31 日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果(屈折、眼位、網膜対応) ) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	◆以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2015 年 5 月 1 日 ～ 2016 年 4 月 30 日
	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： )（提供方法： ) <input type="checkbox"/> その他（提供先： )（提供方法： )
	◆試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 眼科学講座 視能訓練士 本田 聖奈
研究の意義、目的	<p>斜視手術の適応、その術式、術量の決定において、正確な最大斜視角の測定が重要です。手術前に最大斜視角を測定する検査法として片眼遮蔽法とプリズムアダプテーションテスト（以下 PAT）の二つが用いられています。片眼遮蔽法が有用か、または片眼遮蔽法と PAT を併用したものが有用かは未だ不明です。この研究の目的は、片眼遮蔽法、PAT、片眼遮蔽法と PAT の併用のうち、どの方法が効率よく斜視の最大斜視角の検出できるかを調べることです。</p>
研究の方法	<p>以下の検査を 2 回に分けて行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼遮蔽法と PAT の併用</li> <li>・PAT</li> </ul>
その他	
個人情報について	<p>利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。</p>
拒否の方法	<p>試料・情報を本研究で利用することについて、いつでも拒否することができます。対象となる患者さん（または代理人）より下記までお問い合わせください。</p>
問い合わせ等の窓口	<p>所属：旭川医科大学眼科          氏名：西川 典子          電話番号：0166-68-2542</p>